



白萩

学校だより「しらはぎ」

令和5年 6月号

あきる野市立増戸中学校

編集：副校長 中山 恵施

学校行事で力を付ける

校長 木下 美彦

庭先にホタルブクロ（釣鐘草）が咲いていました。淡紫色の釣鐘状で下を向く花に、蛍をとって入れることから、この名前があるといわれます。関東地方も梅雨入り。毎年の季節の変化を感じながらも、例年よりも早い台風の発生は梅雨前線を刺激し、線状降水帯の予報にも気を配るようになりました。

1学期も後半を経過し、毎日の活動が活発に進められています。授業に取り組む様子を見るとき、いつの間にか大きくなっている生徒に驚くことがあります。心身の変化に戸惑いながらも成長する中学生の成長を感じています。

さて先月27日、大きな学校行事である第77回体育大会を実施することができました。コロナ前同様とは言えませんが、来賓の皆様をお招きし生徒の活動を御覧いただきました。

新記録の高さに挑戦する生徒と見守り・応援する生徒たち、バーを跳び越えた時は大歓声に包まれました。真剣な姿とともに、皆が感動を共有した瞬間でした。力を尽くした諸競技を見ることができました。団体種目も戻ってきました。この時に向けて練習してきた力を発揮できた生徒たちは、いつもと違った達成感を味わうことができたでしょう。

体育大会のような特別活動で、身に付ける力があります。「人間関係形成」「自己実現」「社会参画」という3つの視点です。人間関係形成は、集団の中で人間関係を主体的、実践的によりよいものへと形成する視点であり、自己実現は、集団の中で現在及び将来の自己の生活の課題を発見し、よりよく改善しようとする視点です。そして、社会参画は、よりよい学級・学校生活づくりなど、集団や社会に参画し様々な課題を主体的に解決しようとする視点です。この3つの視点で見たとき、選手決め・係活動や練習・準備を通じた取組、当日、事後の振り返りという一連の活動でその能力が培われます。今回の大会も一人一人の願いや思いが結実した体育大会となりました。保護者・地域の皆様、応援ありがとうございました。6月現在、各学年とも次の学校行事に向けて準備が始まっています。

草の中にぽっかりと、提灯を差し出した愛嬌のある花のように、日常の中に子どもの成長を発見する1学期としたいと思います。

